

## ◆ 第1期東村山市創生総合戦略進捗状況まとめ ◆

## 基本目標Ⅰ

## 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

指標	基準値	29年度	目標値	進捗状況
合計特殊出生率	1.26 (H26年)	1.22 (30年度は数値公表前)	1.39 (H31年)	C

## 基本的方向1:結婚～出産～子育てまで切れ目のない支援

若い世代の結婚や出産に対する希望をかなえ、より多くの方々が地域の中で安心して子どもを産み、安心と喜びを実感しながら子育てに励むことができるよう、結婚や出産を希望する方への支援に積極的に取り組むとともに、ハード・ソフトの両面から地域社会全体で子育てを温かく見守り、支える環境のさらなる充実を図る。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
1.結婚を希望する若い世代への支援	・婚活イベントを2回開催。 (第1回43名参加、第2回11名参加)	婚姻率(人口千対)		C
		3.8 (H29年)	4.5 (H31年)	
2.安心して出産し、子どもの健やかな成長を促すための支援	・母子保健コーディネーターの配置。 ・35歳未満の妊婦健康診査の拡充。 ・妊婦歯科健診の個別化。受診率の向上。 ・図書館のトイレ改修、授乳室の整備。 ・読み聞かせ用絵本リスト等の作成。	妊娠期の専門職による健康相談の割合		A
		94.8% (H30年度)	90.0% (H31年度)	
3.子どもを産み、育てやすい環境の整備	・子育て情報サイトの拡充(スマートフォン対応)。 ・幼稚園の認定こども園への移行支援。 ・保育園の老朽化した遊具の更新。 ・地域開放型のイベント実施(6回、5,704名参加) ・第2野火止分室の改築。 ・女性のための就職支援事業実施(相談会、セミナー、インターンシップ)	保育所待機児童数		C
		5人 (H31.4.1現在91人)	0人 (H31年度)	

## 基本的方向2:子どもたちの心身ともに健やかな成長への支援

次代の東村山市を担う児童・生徒がより良い地域社会の形成に貢献する自立した人間として、心身ともに健やかに成長できるよう、確かな学力・豊かな心・健やかな体からなる「生きる力」を育むとともに、“ふるさと東村山”を愛する心や大切に思う気持ちの醸成に結びつくための取組を推進する。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
4.«生きる力»を育む教育の推進	・独自の「算数・数学基礎ドリル」、「国語基礎ドリル」を作成し、市内小中学校で活用。 ・市内小中学校にタブレット端末の配布。 ・八国山芸術祭の開催(計1,000名参加)	東京ベーシック・ドリル「診断シート」における平均正答率		B
		<小5> 69.8% <小6> 77.2% (H30年度)	<小5> 73.5% <小6> 83.4% (H31年度)	

## 基本目標Ⅱ

### 東村山市や周辺地域に安定した雇用を創出する

指標	基準値	29年度	目標値	進捗状況
従事者数	40,060人 (H26年7月1日現在)	「経済センサス基礎調査」 (R1年度調査中)	41,500人 (H31年)	D

#### 基本的方向1:都市農業の育成・振興

農業経営基盤の安定・強化に努めるとともに、地元農産物の消費拡大に向けた取組を支援し、都市農業の振興を図る。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
5.農業経営基盤の安定・強化	・農業経営改善計画を作成。認定農業者に対し補助金を交付。(計22名)	認定農業者数		B
		59戸 (H31.4.1現在)	60戸 (H31年度)	
6.地元農産物の消費拡大	・直売所マップの改訂。地場農産物のPR。 ・学校給食での地場野菜の使用率の向上。 ・農産物共同直売所の設置検討。 ・梨、ぶどう、キウイのブランド化のため、計38経営体に対して補助を実施。	果樹収穫量		B
		394トン (H29年)	396トン以上 (H31年)	

#### 基本的方向2:地域に活力を生み出す産業の振興

若年人口の流出を抑制しながら、市内外の多くの消費を引き込むことができるよう、起業・創業に対する支援や地域物産の販路拡大、新たなサービス産業の振興等を推進するとともに、より多くの来街者が訪れるよう、観光振興に取り組む。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
7.起業・創業に対する支援	・創業塾等のセミナーを通じて計53人が創業。 ・パーソルテンプスタッフ(株)との共同研究を通じ「ジョブシェアセンター東村山」を開設。	創業者数		B
		53件 (累計)	56件 (H28~31年度の累計)	
8.市内産業の活性化	・市内9事業者に対し、専門家による伴走型の支援を実施。 ・市外の方を対象とした、市内周遊モニターツアーの実施。 ・個店の魅力を発信する「地元のお店イチオシめぐり」を開催(4回)。	1事業所あたりの年間商品販売額(小売業)		D
		「経済構造実態調査」より抽出(R1年度調査中)	154百万円 (H30年)	
9.観光まちづくりの推進	・観光情報サイト「のめっ恋まちひがしむらやま info」の構築。 ・菖蒲まつりにて、ライトアップ・風鈴棚・ウォーキングイベント等の実施。 ・Instagram「@TANOSHI_MURAYAMA」による情報発信を開始。	地域資源を活かした観光の振興に満足している市民の割合		B
		17.3% (H30年度)	20.0% (H31年度)	

## 基本目標Ⅲ

### 地域と住民のより良い関係を構築し、住宅都市の特徴を活かしたまちづくりを行う

指標	基準値	29年度	目標値	進捗状況
東村山市に愛着があると感じている市民の割合	64.0% (H26年度)	73% (R2年度調査予定)	69.0% (H31年度)	A

#### 基本的方向 1: 地域の個性を活かしたまちづくりの推進

地域の課題を市民自らが解決出来るよう、より広範な分野において、地域主体のまちづくり活動を促進するとともに、だれもが住み慣れた地域の中で、いつまでも安全・安心に暮らすことができるよう、市民・地域・行政が共に連携して災害や犯罪の起こりにくい環境づくりを推進する。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
10. 地域主体のまちづくり活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働講座を計 6 回実施。市民に対し協働の考えを周知。</li> <li>自治会フォーラムを開催(年 1 回)。自治会同士のワークショップを実施し、自治会間の連携強化や課題を共有。</li> </ul>	行政と市民による協働のまちづくりの推進に関する取組に満足している市民の割合 18.5% (H30年度)	21.5% (H31年度)	C
11. 地域の暮らしの安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラ設置助成を行い計 52 台設置。</li> <li>市内全小学校の通学路へ防犯カメラ設置を設置。</li> <li>防災ガイドマップを作成。市内全世帯へ配付。</li> <li>災害時外国人市民支援ボランティア養成講座開催(74名登録)。</li> <li>外部講師による防災講座の実施(44名参加)。</li> <li>23,500人×3日分の災害時防災備蓄完了。</li> <li>消防団への携帯型デジタルトランシーバー等装備品を配備。</li> <li>第4分団のポンプ車の入れ替えを実施。</li> </ul>	市内の自治会のうち東村山防犯協会に参加している自治会の割合 60.5% (H30年度)	54.0% (H31年度)	A

#### 基本的方向 2: 生涯元気なまちづくりの推進

高齢者が住み慣れた地域や家庭の中で、いつまでも自立した生活が継続できるよう、介護予防の充実に努めるとともに、高齢者や障害のある方、生活に困窮している方なども含め、地域に暮らすすべての人が支えあい、健やかに生きがいを持って生活できるよう、支援をしていく。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
12. 地域包括ケアシステムの構築と健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気アップガイドを全戸配布(3回)。元気アップマップを全戸配布(2回)。</li> <li>認知症対応型共同生活介護等の機能を持つ施設の整備。</li> <li>市民団体による高齢者見守りを行う市民団体の体制整備。</li> </ul>	65歳健康寿命 <男性> 82.87歳 <女性> 86.01歳 (H29年度)	<男性> 82.17歳以上 <女性> 85.40歳以上 (H31年度)	A
13. 地域における支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民後見人養成基礎講習を実施し、1名選任。</li> <li>障害者就労に向け、コミュニケーション能力向上のための講座を実施。</li> <li>生活困窮者の就労相談等により就労決定者数が増加。</li> <li>65歳以上を対象に、地域活動を行っていない市民と地域活動団体のマッチングイベントを開催(計 870名参加)。</li> <li>地域連携型認知症疾患医療センターに認知症初期集中支援チームを設置。</li> </ul>	地域包括支援センター相談件数 (年間延べ相談件数) 37,908件 (H30年度)	対前年度比増 (毎年度)	A

### 基本的方向 3: 良好な住環境の維持・向上

人口構造の変化や各地域によって異なる特性、市民ニーズ等を十分に踏まえながら、より多くの人々から「住んでみたい・住み続けたい」と強く支持されるよう、地域住民との連携・協力のもと、市街地の質的な改善や暮らしを支える都市機能の再編を推進し、良好な住環境の維持・向上を図る。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
14. 公共施設の最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画の公表。</li> <li>包括施設管理委託契約締結。</li> <li>公共施設再生計画出張講座を開催(計 32 回)。</li> <li>施設再生ケーススタディブックを公表。</li> </ul>	公共施設の最適化に関する取組を重要だと思ふ市民の割合		B
		75.5% (H30 年度)	平成 28 年度調査費 5.0 ポイント増 (H31 年度)	
15. 良好な住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策計画を策定。</li> <li>空き家対策の総合相談窓口として、民間事業者2社と協定を締結。</li> <li>空き家対策セミナーを実施。</li> </ul>	空き家等の年間相談件数		B
		87 件 (H30 年度)	120 件 (H31 年度)	
16. 公共交通網の機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスの新路線の運行開始。</li> <li>東村山市公共交通マップの作成。</li> <li>西武遊園地駅のエレベータ設置に向けた協議の実施。</li> <li>鉄道事業者が行う八坂駅バリアフリー化に補助金を交付。</li> </ul>	コミュニティバス(東村山駅東口～多摩北部医療センター～新秋津駅、久米川町循環、諏訪町循環)を利用した乗客の延べ人数		C
		328,176 人 (既存路線のみ) 386,774 人 (新規路線含む) (H30 年度)	359,000 人 (H31 年度)	
17. 情報環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>市公式 Facebook ページを開設。</li> <li>Instagram による東村山市エリア情報の発信開始。</li> <li>ごみの出し方についてスマートフォンアプリを導入。</li> </ul>	市ホームページの各ページについて、「役に立った」と答えた人の割合		C
		61.7% (H30 年度)	69.0% (H31 年度)	

### 基本的方向 4: 東村山ファンの醸成

市内外へのまちの魅力の発信や、来訪するきっかけとしてのイベント開催などを行うことで交流人口の増加を目指し、認知度の向上を通じて、愛着・好感度の醸成を図る。

具体的な施策	主な取り組み	重要業績評価指標		進捗状況
		最新値	目標値	
18. シティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「多摩屈指のパワースポット巡り」、「東村山 里山シニアター feat.ねぶくろシネマ」等のイベント開催。</li> <li>ウェルカムガイドの作成。</li> <li>市プロモーション動画「たのしむらやま」の制作、新宿の映画館にて上映。</li> <li>新宿、立川の街頭ビジョンにおいて、市プロモーション動画の放映を実施。</li> </ul>	東村山市への認知度		C
		2.86 点 (H29 年度)	3.33% (R2 年度)	